



特高圧回路原因の停電事故発生！

原因究明と対策を求めて団体交渉申し入れ！

7月6日12時16分頃、東海道新幹線静岡駅～掛川駅間で停電が発生しました。これにより上下線とも運行見合わせとなり、運転再開まで3時間を要し、約9万人に影響する重大事故となりました。

停電の原因は「のぞみ12号」の12-13号車間の特高圧（25000V）ケーブルが何らかの原因で損傷し、地絡（ショート）したためということです。

特高圧回路が原因の停電は2023年1月22日にも発生しており、その原因も解明されていない中での発生であり、安全に関する重要な事象であると認識します。

新幹線地本は今回の事故について、原因究明と再発防止対策を求めて申し入れを行いました。

申し入れ内容（要旨）は以下の通りです。

【東海道新幹線静岡駅～掛川駅における停電事故に関する申し入れ】

1. 今回の停電事故の概況について詳細に明らかにすること。
2. 停電事故の状況および原因について明らかにすること。
3. 当該車両に関する以下の事項について明らかにすること。
 - ・ 当該車両の製造年月、車両メーカー、事故発生までの走行距離
 - ・ 全検、台検、交検、仕業それぞれの直近の検査履歴および事象発生までの走行距離
 - ・ 当該箇所の検査及び修繕実績
4. 事故発生後に一斉点検を実施しているが、その結果について詳細に明らかにすること。
5. 再発防止対策について明らかにすること。
6. 重大な事故等が発生した際は労働組合に早急に明らかにすること。

J R 東海労は責任追及ではなく原因究明を強く求めます！